

小学校区を構成する町丁目	古込、三里塚、三里塚御料、三里塚光ヶ丘、取香、新駒井野、大清水、天浪、東三里塚、東峰、南三里塚、畑ヶ田、本三里塚、木の根
--------------	--

面積		小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)
人口		9,880 (人)	132,404 (人)	7.46 (%)
人口密度		861.18 (人/km ²)	619.17 (人/km ²)	-
男女別人口	男	5,753 (人)	66,487 (人)	8.65 (%)
	女	4,128 (人)	65,917 (人)	6.26 (%)
世帯数		1,357 (世帯)	27,819 (世帯)	4.88 (%)
0歳以上～15歳未満		5,440 (人)	59,910 (人)	9.08 (%)
15歳以上～65歳未満		1,294 (人)	18,647 (人)	6.94 (%)
65歳以上～		7,230 (人)	85,938 (人)	8.41 (%)
65歳以上の独居者		50 (人)	1,107 (人)	4.49 (%)
避難行動要支援者		119 (人)	2,279 (人)	5.22 (%)
外国人居住者		668 (人)	3,977 (人)	16.78 (%)
建物分布状況	建物棟数	3,343 (棟)	56,677 (棟)	5.90 (%)
	木造(S55以前)	644 (棟)	13,866 (棟)	4.64 (%)
	木造(S56以降)	1,782 (棟)	29,933 (棟)	5.95 (%)
	RC・SRC造	134 (棟)	2,236 (棟)	6.00 (%)
	S造	720 (棟)	9,453 (棟)	7.61 (%)
	その他	64 (棟)	1,189 (棟)	5.38 (%)
密集度		291.39 (棟/km ²)	265.04 (棟/km ²)	-

自主防災組織結成状況	組織数	0	世帯数	0	結成率	0.00 (%)
------------	-----	---	-----	---	-----	----------

防災関連施設	消防本部・消防署・分署	三里塚消防署、三里塚消防署空港分署					
	消防団	第7分団第6部、第7分団第10部、第7分団第11部					
	警察署・交番・駐在所	三里塚交番、成田国際空港警察署					
	市役所・支所・事務所・集会所等	三里塚(共)、南三里塚(共)、本三里塚(共)、新駒井野(共)、御料(共)、光ヶ丘(共)、本三里塚第二(共)、本三里塚本町(驛)、本三里塚仲町(驛)					
		種別	箇所数	種別	箇所数	種別	箇所数
	防災井戸	1	給水栓	0	給水拠点	1	
	防災倉庫	1	資材置場	0	水防倉庫	0	
	消防団器具庫	3	AED設置施設	5	災害拠点病院	0	
	病院・診療所	4	歯科医院	2	福祉施設	8	
	保育所・幼稚園等	3	水位観測所	0	雨量観測所	1	
	防災行政無線屋外子局	6	ヘリコプター臨時離着場	1	ドクターヘリ臨時離着場	1	
	震度計	0	郵便局	3	公園	13	

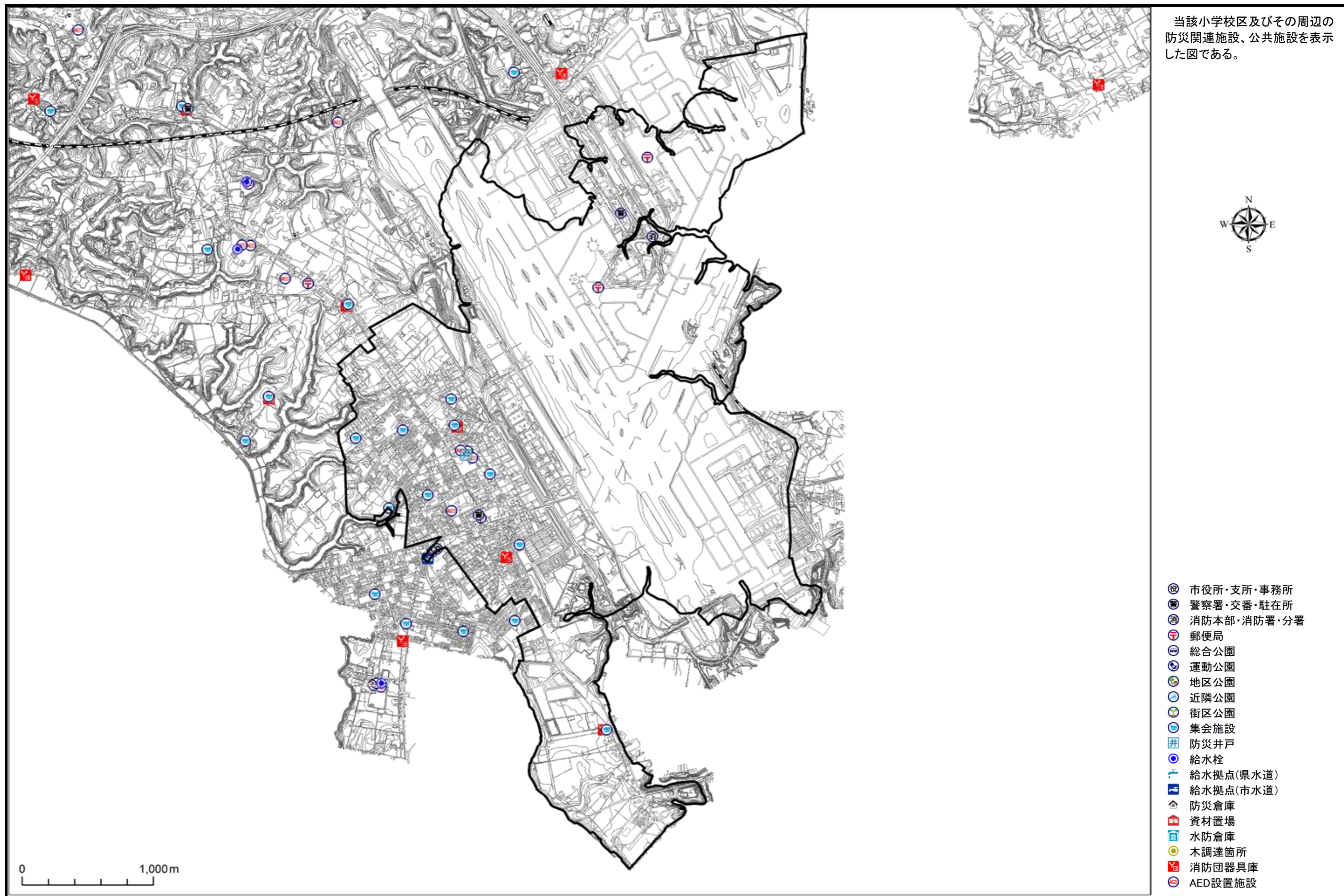
避難施設	種類				施設名称	収容人数(人)	
	指定緊急避難場所	指定避難所	自主避難所	福祉避難所		指定緊急避難場所	指定避難所
	●	●			三里塚小学校	3,160	269
			●		三里塚コミュニティセンター	-	-
				●	不二学園	-	-
				●	セントアンナナーシングホーム	-	-
収容人数合計						3,160	269

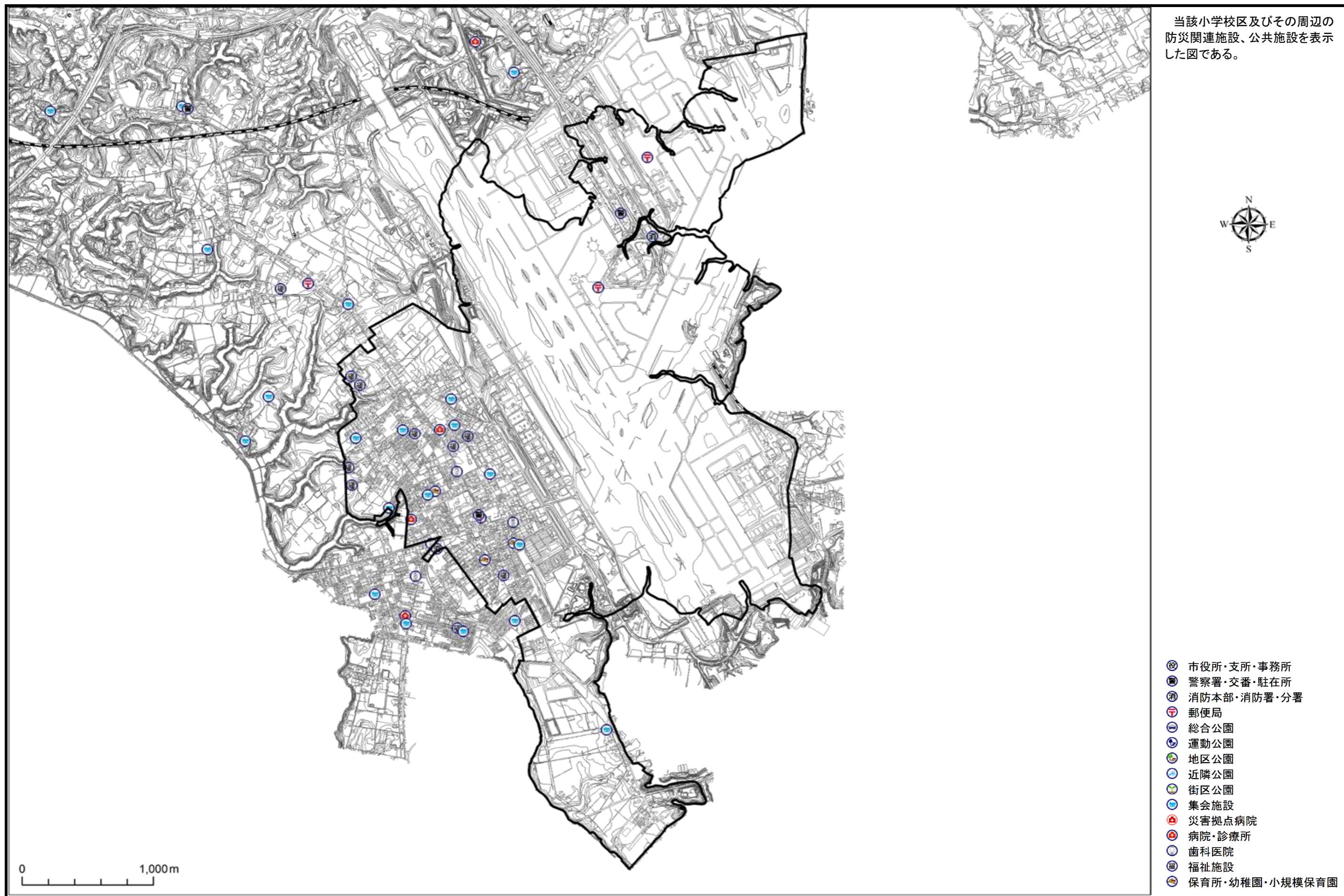
洪水被害想定	利根川浸水想定区域			根木名川浸水想定区域		
	小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)	小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)
浸水面積(km ²)	0.00	38.43	0.00%	0.00	16.17	0.00%
浸水する建物数(棟)	0	5,565	0.00%	0	1,428	0.00%
避難の対象者数(人)	0	6,025	0.00%	0	2,238	0.00%

土砂災害被害想定	箇所数(箇所・地区)		重なる面積(ha)		重なる建物数(棟)		避難の対象者数(人)	
	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII
急傾斜地崩壊危険箇所	0	0	0	0	0	0	0	0
土砂災害警戒区域	0	0	0	0	0	0	0	0
うち特別警戒区域	0	0	0	0	0	0	0	0
山腹崩壊危険地区	0	0	0	0	0	0	0	0

地震被害想定結果	震度階級					液状化危険度								
	5弱	5強	6弱	6強	7	PL=0	0<PL≤5	5<PL≤15	15<PL					
面積(km ²)	0.00	0.00	11.47	0.00	0.00	11.20	0.27	0.00	0.00					
建物被害(棟、出火件数のみ件)					人的被害(人)									
小学校区(a)					市全体合計(b)					割合(a/b)				
木造 全壊	83	1,779	4.69%	死者数	1	16	4.65%							
木造 半壊	295	5,752	5.12%	負傷者数	76	1,471	5.16%							
非木造 全壊	10	300	3.18%	重傷者数	10	198	4.82%							
非木造 半壊	11	232	4.64%	軽傷者数	66	1,273	5.21%							
出火件数	0	5	5.82%	要救助者数	4	66	6.36%							
焼失棟数	1	17	5.56%	避難者数	340	18,189	1.87%							
上水道断水人口(人)					下水道支障人口(人)									
小学校区(a)					市全体合計(b)					割合(a/b)				
断水人口	497	37,668	1.32%	支障人口	175	3,341	5.23%							

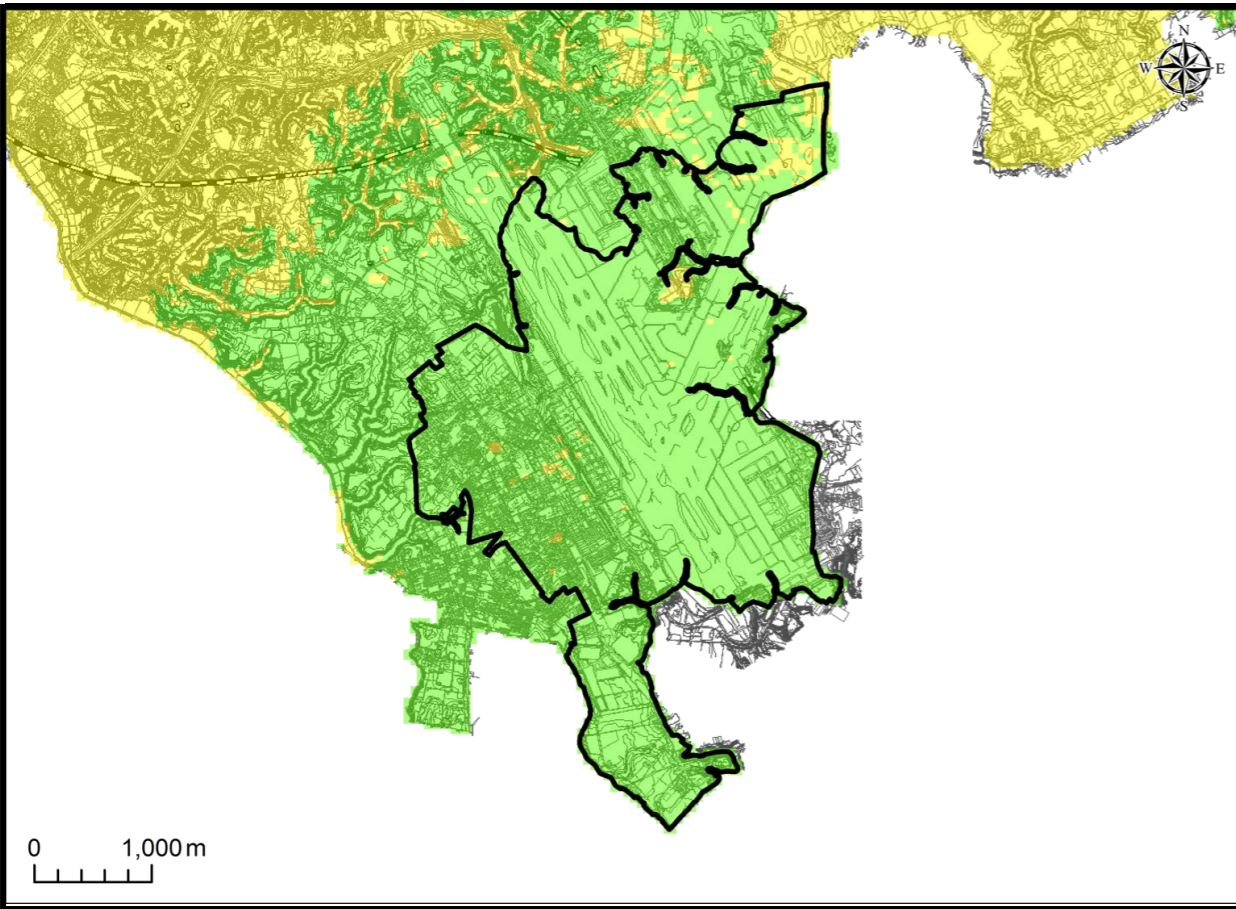




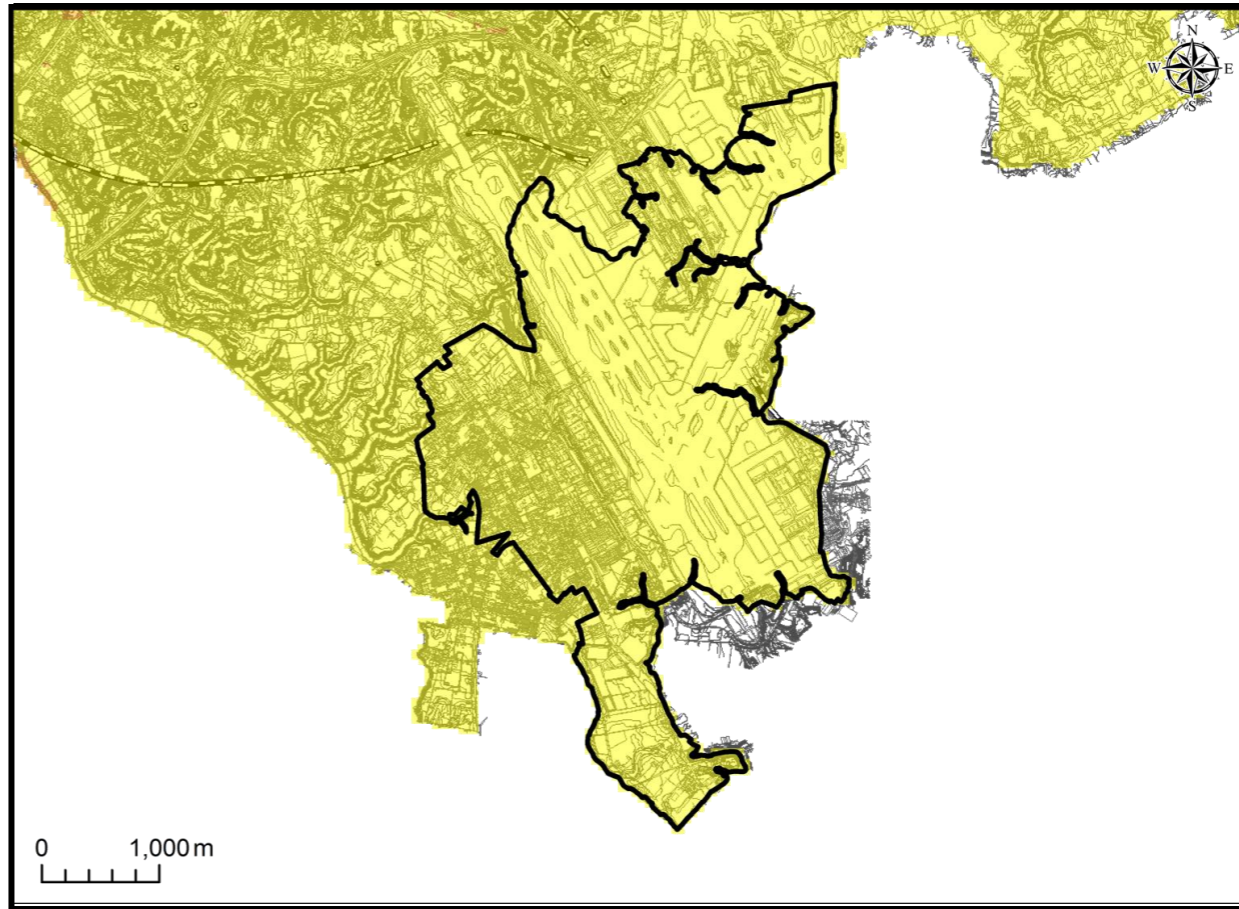




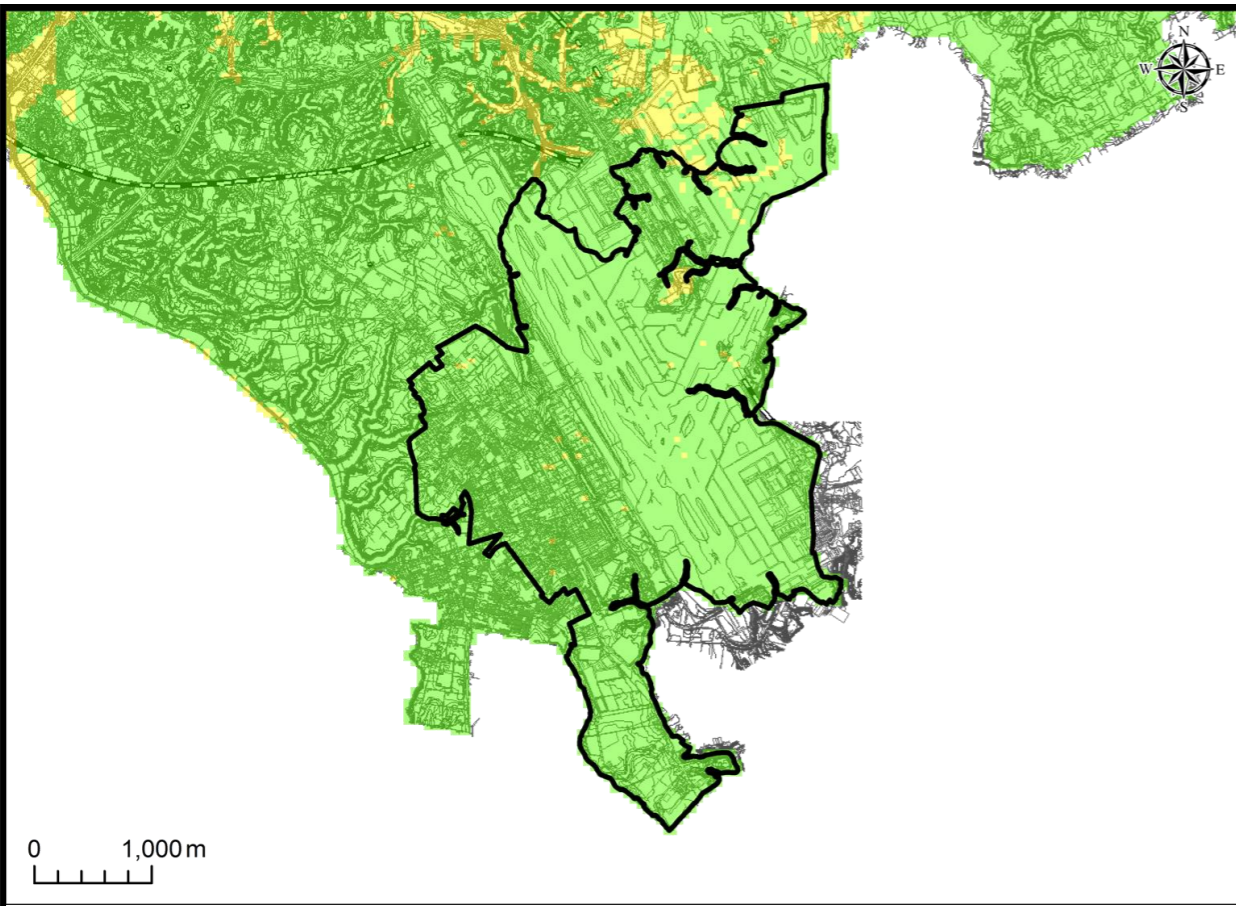
●想定震度階級 (A. 千葉県北西部直下地震)



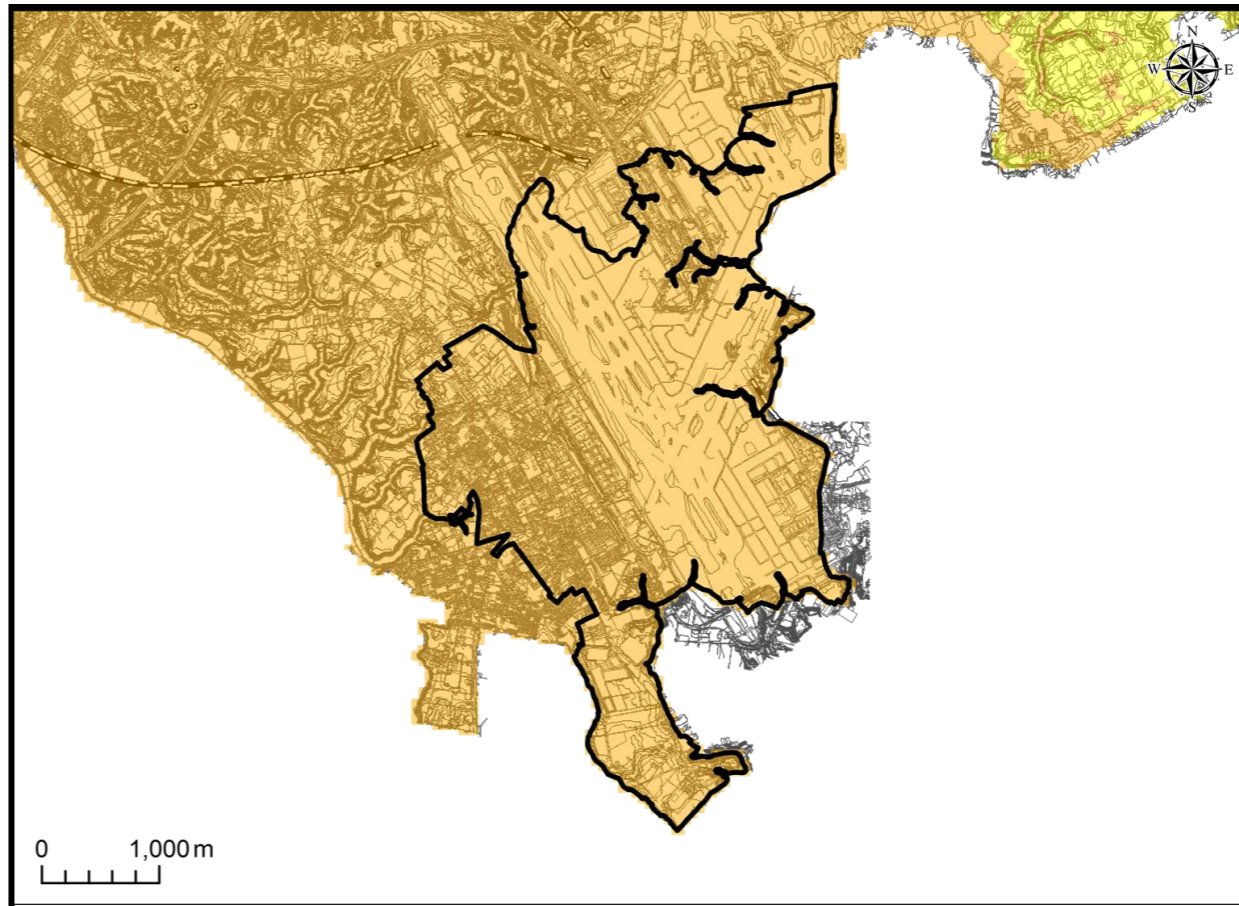
●想定震度階級 (B. 成田空港直下地震)



●想定震度階級 (C. 茨城県南部地震)



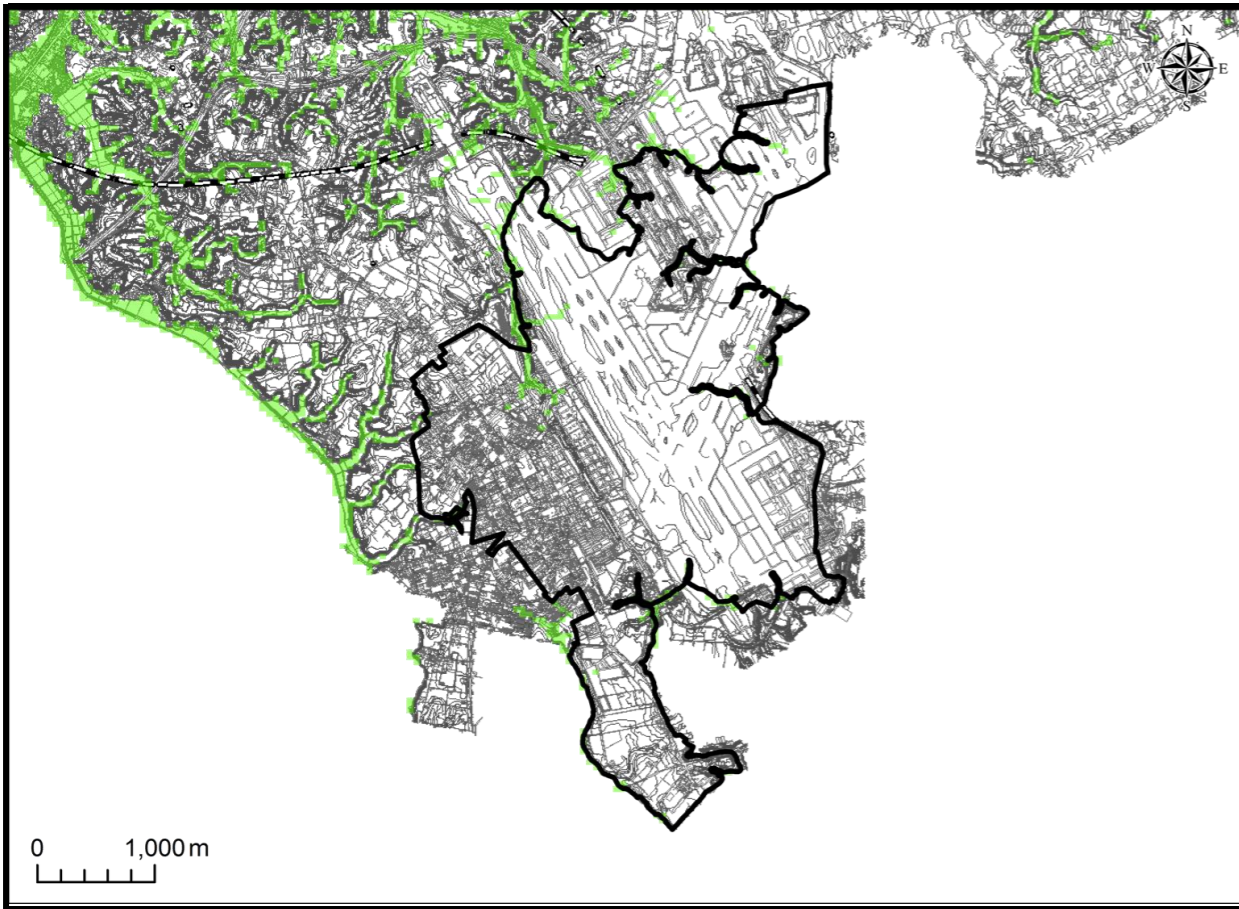
●想定震度階級 (D. 成田市直下地震)



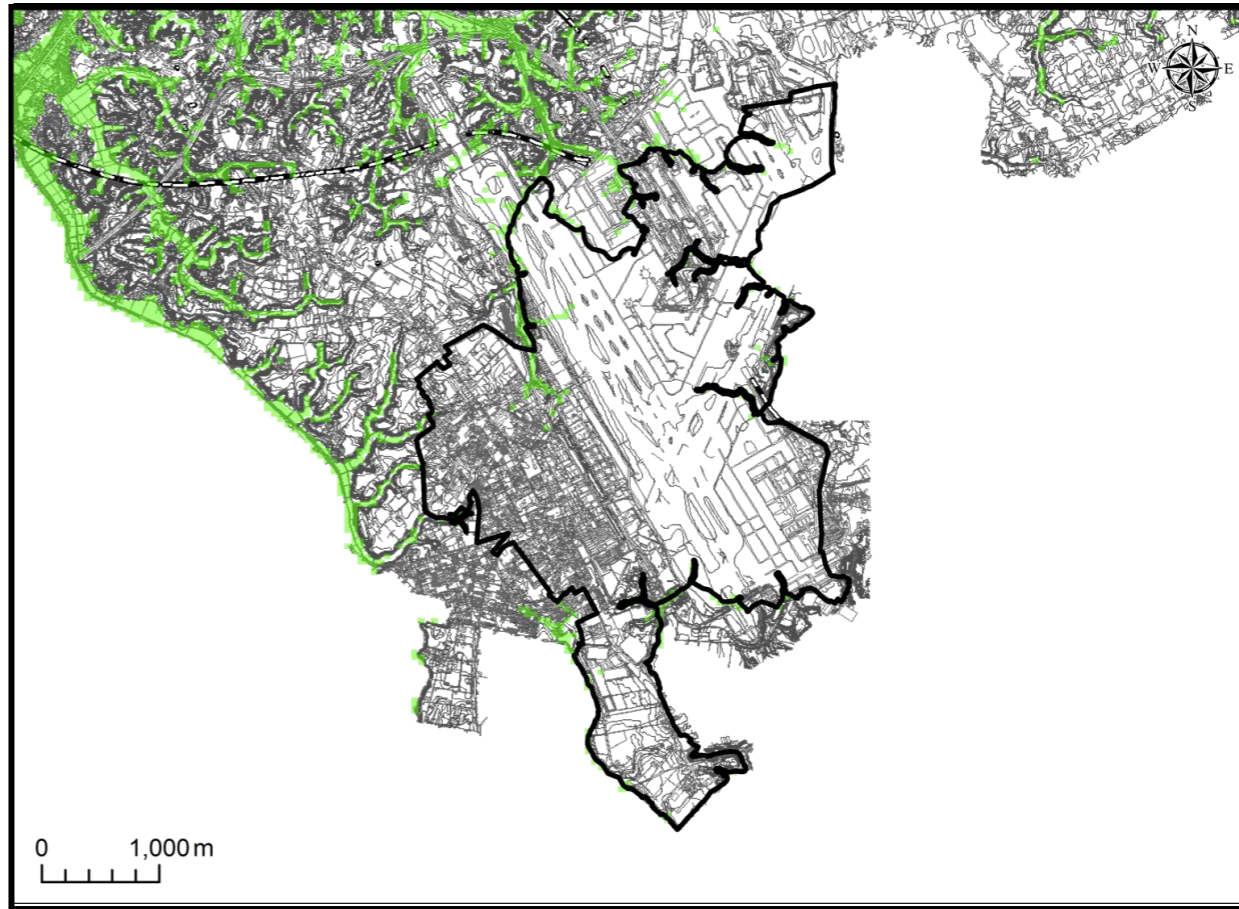
当該小学校区の震度階級を、想定地震別に50mメッシュで表示した図である。
 なお、震度は、地盤条件、地震の規模(マグニチュード)や震源の深さ、震源からの距離等によって異なる。このため、相対的なゆれの強さは地震によって異なる。

- 凡例
 震度階級
 5強
 6弱
 6強
 7

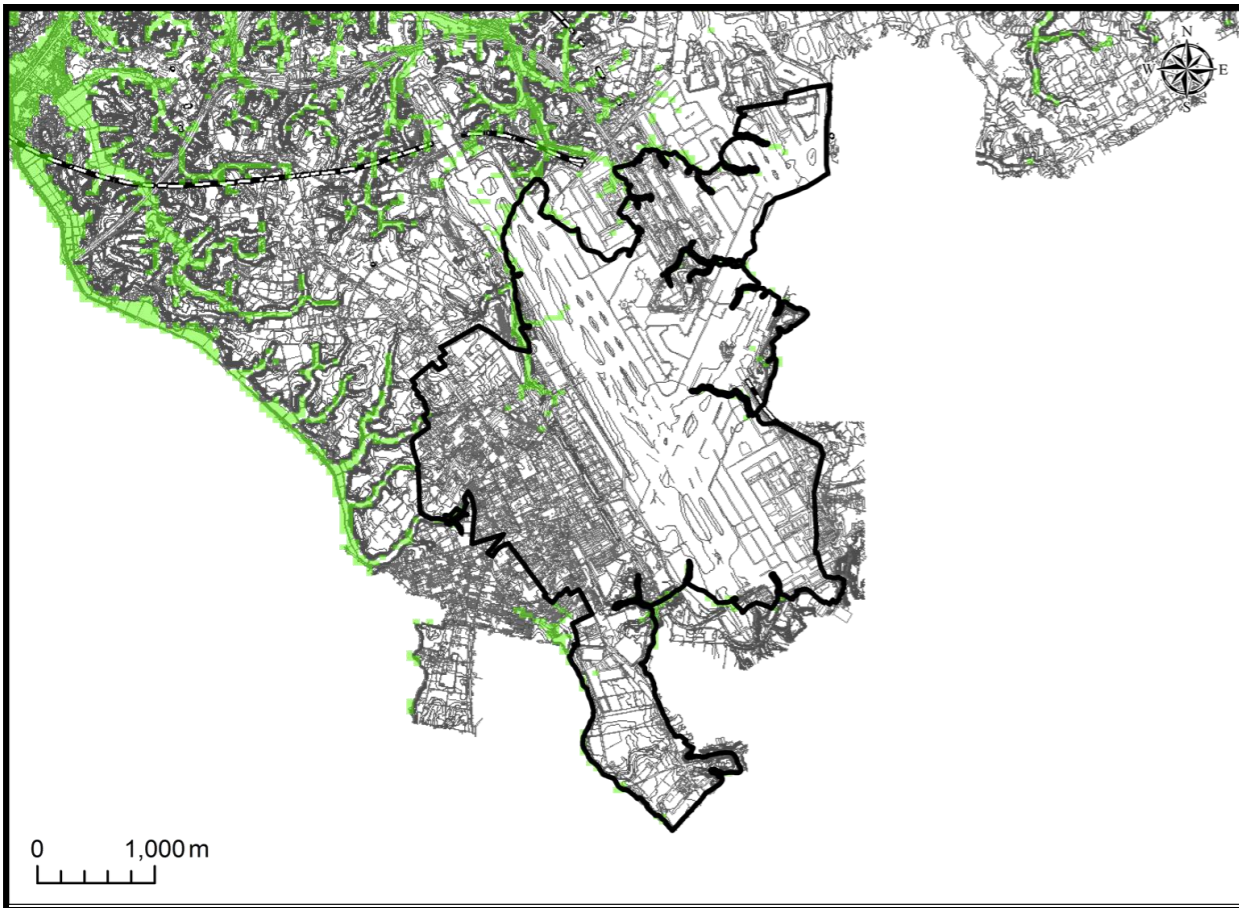
●想定液状化危険度 (A. 千葉県北西部直下地震)



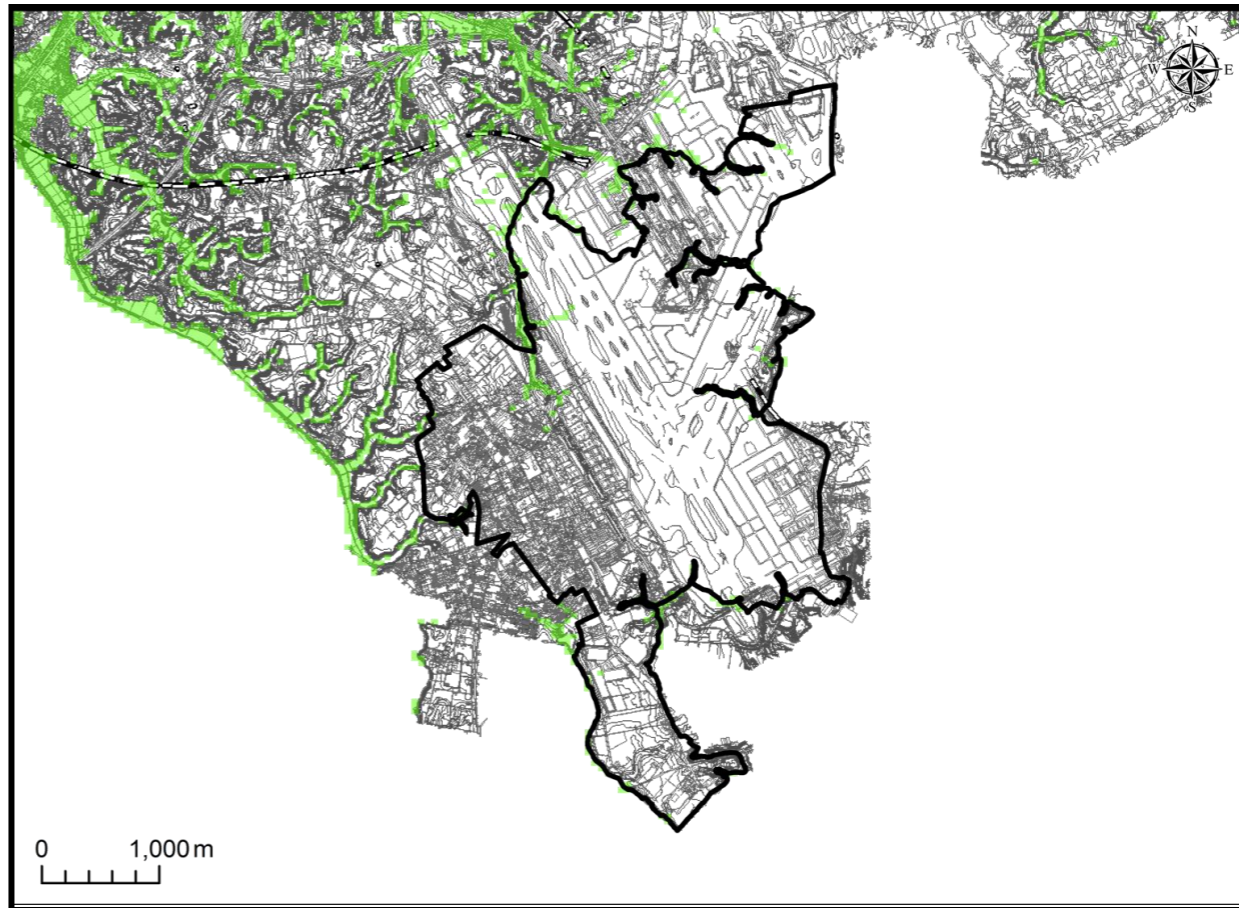
●想定液状化危険度 (B. 成田空港直下地震)



●想定液状化危険度 (C. 茨城県南部地震)



●想定液状化危険度 (D. 成田市直下地震)



当該小学校区の液状化危険度を、想定地震別に50mメッシュで表示した図である。PL値が大きいほど、液状化危険度は高い。

凡例

PL値

15 < PL

5 < PL ≤ 15

0 < PL ≤ 5

PL = 0





